

2020年7月28日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 松山 哲人
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-3241-0553

アキュルナ株式会社の悪性脳腫瘍を対象とした開発候補品の 紹介記事について

当社は、核酸医薬品の創薬に特化したアキュルナ株式会社の吸収合併について2020年7月15日付にてご案内しておりますが、2020年7月27日の日本経済新聞で同社と名古屋大学と共同で研究開発を進めております悪性脳腫瘍を対象とした核酸医薬が紹介されましたのでお知らせいたします。

TUG1 は脳腫瘍でも最も悪性度が高い膠芽腫の発症に関わる長鎖非コードRNAとして同定されました。本研究では、このTUG1を標的とする核酸医薬を、アキュルナの核酸送達技術を使って膠芽腫を狙って送達し、TUG1の働きを抑制するという新薬候補の実用化に向け、臨床試験に必要な製剤、薬効、安全性などに関する研究開発を行います。

本研究は、日本医療研究開発機構（AMED）の以下の事業に採択されています。アキュルナは名古屋大学大学院医学系研究科の近藤豊先生とともに、脳腫瘍をターゲットとした新しい核酸医薬の開発に向けた研究を進めていきます。

【日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究事業】
領域3-1 革新的がん治療薬（医薬品）の実用化に向けた非臨床試験
(1 課題当たり年間上限 77,000 千円、原則 3 年度)

研究開発期間： 2020年4月-2023年3月

研究開発課題名：膠芽腫に対するアンチセンス核酸治療薬の実用化に向けた非臨床研究

研究開発代表者：名古屋大学 大学院医学系研究科 近藤豊先生

尚、本件による2021年3月期業績への影響はございませんが、次世代創薬として期待される核酸医薬品領域において、新たな臨床開発品の獲得に向けた活動を推進してまいります。

以上